



塘 忠顕

Tsutsumi Tadaaki

博士(理学) 筑波大学

略職歴

- 1995年 筑波大学準研究員
- 1996年 同上 助手
- 1996年 福島大学講師
- 1996年 同上 助教授
- 2007年 同上 准教授

主な研究分野 1. 昆虫の卵形成と卵巣構造の系統進化

昆虫の卵ができてくる過程は多様であり、またそれを作る器官である卵巣構造にも多様性が見られる。これらの多様性が進化してきたプロセスを明らかにする。特にカゲロウ類、アザミウマ類、カカトアルキ類など、昆虫の進化を考える上で重要な分類群を材料としている。



[2002年に88年ぶりに新目昆虫として設立されたカカトアルキ類(南アフリカ産、ビドーカカトアルキ

Karoophasma biedouwensis の雄成虫)]

主な研究分野 2. 河川に生息する底生動物の分布と生態

福島県内の河川を対象にして、そこに生息している底生動物相(主に水生昆虫相)を解明し、それらから河川およびその周辺の自然環境のあり方を考える。現在は上流にダムが完成した摺上川の底生動物について、主にダム堤体直下流の5ヶ所でモニタリングを実施している。また、ふくしま県民の森「フォレストパークあだたら」及びその周辺の昆虫相についても調査を実施している。

主な研究分野 3. アザミウマ類の分布・分類・形態学的研究

農業害虫としても有名なアザミウマ類の福島県内における分布や寄主との関係などを明らかにする。また、アザミウマ類の超微形態(外部形態や内部形態の微細構造)を観察し、アザミウマ類の進化や系統に関する考察を行う。

相談に応じられる分野・テーマ:

1. アザミウマ類の同定
2. 水生昆虫の同定
3. 小学生〜高校生を対象とした自然観察・体験活動

キーワード: 比較形態学, 卵形成, 卵巣構造, アザミウマ類, カカトアルキ類, 水生昆虫, 生活史, 分布, 分類学, 超微形態, 系統進化

代表的な業績:

ふくしま県民の森「フォレストパークあだたら」のアザミウマ相(補遺), 福島大学プロジェクト研究[自然と人間], (8), 18-24, 2010.

マメハナアザミウマ *Megalurothrips distalis* (Karny) (総翅目: 穿孔亜目) 雄の刺毛腺細胞の微細構造, *Proceedings of the Arthropodan Embryological Society of Japan*, 44, 39-40, 2009.

'Paraneoptera': a comparison of ovarian structure, *Proceedings of the Arthropodan Embryological Society of Japan*, 43, 61-63, 2009.

阿武隈川水系摺上川ダム直下流域における底生動物相〜2006年〜2008年の調査結果の比較〜, *共生のシステム*, 7, 34-41, 2009.

福島県二本松市山ノ入川におけるモンカゲロウとトウヨウモンカゲロウの分布と生活史(カゲロウ目: モンカゲロウ科), *福島生物*, (51), 17-30, 2008.

Ovarian structure and oogenesis of the South African heel-walker *Karoophasma biedouwensis* (Insecta: Mantophasmatodea), *Proceedings of Arthropodan Embryological Society of Japan*, 40, 15-22, 2005.

学会活動

- 日本動物学会
- 日本昆虫学会
- 日本発生生物学学会
- 日本節足動物発生学会
- 日本土壤動物学会
- 日本陸水学会

社会活動

- 福島県環境アドバイザー
- 福島県野生動植物保護アドバイザー
- 福島県尾瀬保護指導委員会アドバイザー
- 日本節足動物発生学会編集幹事

主な担当科目

- 生物学
- 環境保全論
- 自然環境調査法
- 環境解析演習
- 保全生物学実験